

令和7年（2025年）10月17日（金）
公益財団法人広島平和文化センター
平和文化振興部平和文化企画課
電話：242-8871 内線：5810 大見

被爆者と高校生との「原爆の絵」の共同制作を開始します

広島平和文化センターでは、広島市立基町高等学校の協力により、被爆者の記憶に残る光景を「原爆の絵」として制作する取組を行っています。これは、被爆者が自らの体験の中で特に強烈な印象を抱いた場面を高校生に伝え描いてもらうというもので、絵の制作を通じて、若い世代へ被爆体験の継承を図ります。

今年度の共同制作開始にあたり、被爆者と高校生との初回の顔合わせを次のとおり実施します。

1 日時

令和7年10月24日（金）16時から1時間程度

2 場所

広島平和記念資料館東館地下1階 会議室2

3 参加者（予定）

- (1) 被爆体験証言者等 7名（詳細は別紙のとおり）
- (2) 広島市立基町高等学校普通科 創造表現コース生徒 14名

※ このうち被爆体験証言者等1名及び生徒3名は、都合により別日に顔合わせを行います。

4 制作枚数

7人の被爆体験証言者等の記憶に残る光景 14枚

5 制作期間（予定）

令和7年10月～令和8年6月
（14枚のうち2枚は令和7年12月制作開始予定）

6 その他

- (1) 作品完成後、完成披露会を開催します。（令和8年6月下旬～7月上旬予定）
- (2) 完成作品は、被爆の実相をより深く理解してもらうため、被爆者が被爆体験証言など自らの活動で活用するとともに、画像データの提供なども行い、原爆被害の実相を後世に継承するために役立っています。

2025年度制作開始「原爆の絵」被爆体験証言者等リスト

	氏名	今回制作枚数	被爆時の状況
		これまでの制作枚数	
1	アライ シュンイチロウ 新井 俊一郎	2枚	中学1年生であった13歳の時、食糧増産で農村支援出勤先の東広島市から広島へ向かう途中、原爆炸裂の閃光を見て広島市内へ入った。
		3枚	
2	サイキ ミキオ 才木 幹夫	1枚	13歳の時、爆心地から2.2km離れた自宅で、外出するため靴を履こうとしたときに被爆。
		3枚	
3	タキグチ ヒデタカ 瀧口 秀隆	3枚	4歳の時、爆心地より1.8kmの自宅で朝食後、外にいたら飛行機の音がしたため急いで帰り、玄関の引戸を閉めようとしたときに被爆。
		8枚	
4	ナイトウ シンゴ 内藤 慎吾	1枚	6歳の時、爆心地から1.7km離れた自宅で、庭にある防空壕の入口で弁慶蟹を捕まえようとしやがんだときに被爆。
		2枚	
5	ヒロナカ マサキ 廣中 正樹	3枚	5歳の時、爆心地から3.5km離れた自宅前の小川で遊んでいたときに被爆。
		13枚	
6	ヤハタ ツトム 八幡 務	1枚	小学校4年生であった10歳の時、爆心地から2.5km離れた自宅の近くで遊んでいたときに被爆。
		0枚	
7	フキマス トモコ 脇舂 友子	3枚	3歳の時、母の実家がある安芸高田市から呉市の自宅へ車で戻る途中、原爆投下により車が止まり、母に背負われ、線路沿いに広島市内へ入った。
		3枚	

※五十音順、敬称略